

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2005-168948(P2005-168948A)

【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2005-025

【出願番号】特願2003-415973(P2003-415973)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 7 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検者にX線を照射するX線源と、このX線源に被検者を介して対向配置されたX線検出器と、周期的あるいは非周期的に運動する部位の生体センサ情報を収集する生体センサと、上記X線検出器によって検出し収集された撮影データから表示装置へ表示する断層像を再構成する画像処理装置とを備えたX線CT装置において、上記画像処理装置に、上記生体センサで収集された生体センサ情報を元に上記部位の断層像を作成する第一の画像再構成手段と、収集された撮影データから上記部位の運動情報を抽出し、抽出された運動情報を元に上記部位の断層像を作成する第二の画像再構成手段と、上記第一の画像再構成手段によって作成された断層像が前記運動部位の所定時相の運動状態を示しているかどうか判定し、前記所定時相の運動状態を示していない場合に上記第二の画像再構成手段に前記所定時相の運動状態を示す断層像を再構成させる判定手段とを設けたことを特徴とするX線CT装置。

【請求項2】

被検者にX線を照射するX線源と、このX線源に被検者を介して対向配置されたX線検出器と、周期的あるいは非周期的に運動する部位の生体センサ情報を収集する生体センサと、上記X線検出器によって検出し収集された撮影データから表示装置へ表示する断層像を再構成する画像処理装置とを備えたX線CT装置において、上記画像処理装置に、上記生体センサで収集された生体センサ情報を元に上記部位の断層像を作成する第一の画像再構成手段と、収集された撮影データから上記部位の運動情報を抽出し、抽出された運動情報を元に上記部位の断層像を作成する第二の画像再構成手段と、を設け、上記表示装置が、上記生体センサ情報を元に上記部位の断層像を作成する第二の画像再構成手段が使用する撮影データ範囲と、上記第一の画像再構成手段が使用する撮影データ範囲と、を同一画面上に表示することを特徴とするX線CT装置。